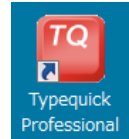


補足資料：TypeQuick レッスン状況の確認と印刷

タイプクイックは、毎日コンスタントに練習しないと力がつかない。この授業では、ときどきタイプクイックの練習経過を確認し、練習経過を平常点として評価する。レッスン成績の確認と印刷の方法を覚えよう。また、大学のプリンター(印刷装置)を使うときのマナーを理解しよう。



1. レッスン成績を確認する

- タイプクイックを起動する：デスクトップにあるアイコンをダブルクリック。

タイプクイックのソフトは大学 PC に導入済み。自宅パソコンで練習したい場合には、ソフトをブックセンターで購入し、ソフト付属のマニュアルと参考資料(「自宅 PC への TypeQuick 学校特別研修キットのインストールについて」)に従って設定する。なお、参考資料は授業ホームページで閲覧・印刷できる。

- タイプクイックの初期画面が表示される(左下図)。
- メニューの「レッスン成績」をクリックする。
- 現在までのレッスン成績の画面が表示される(右下図)。

The image shows two screenshots of the Typequick software. The left screenshot is the main menu with options like '練習コースの選択' (Select practice course), 'レッスン成績' (Lesson performance), and '設定' (Settings). The right screenshot shows a table of lesson performance data.

レッスン	パート	正確率	語/分	時間	最後のレッスン完了日
レッスン2	パート C...	94.6	48.3	000:03	2006-05-02 13:14
レッスン2	パート B...	95.0	33.5	000:03	2006-05-02 13:10
レッスン2	パート A...	95.7	38.1	000:04	2006-05-02 13:06
レッスン1	パート C...	95.2	48.6	000:02	2006-05-02 13:01
レッスン1	パート B...	92.7	31.7	000:02	2006-05-02 12:59
レッスン1	パート A...	95.0	35.5	000:05	2006-05-02 12:56

- これまでの練習結果が表示される。
- 「キーレポート」で、文字ごとのスピードとエラーがグラフで表示される。

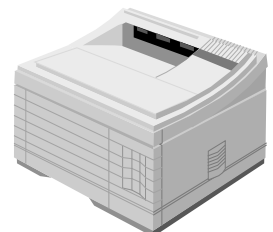
★チェックポイント

- 練習時間: 毎日 30 分の練習ができているか? (累計から計算してみよう)
- スピード: 全レッスン最低 20WPM (1 分間 20 単語) 以上を目指そう。まず全レッスンを一通り終えた後、苦手なレッスンの復習に取り組もう。
- 正解率: 各レッスンとも、90%以上を目指して練習しよう。

2. 印刷の基礎知識

- 画面に表示されている情報は、「プリンタ」と呼ばれる印刷装置を使用して紙に印刷することができる。
- 教室にあるプリンタを使うときには、次の点に注意すること。

- 教室のプリンタは共同で使うもの。他人に迷惑をかけること。
 - むやみに大量の印刷を行わないこと。
 - 自分がその場にいないのに印刷しないこと。
 - 自分が印刷したものは自分で回収し、放置しないこと。
- 「印刷」の指示をパソコンに与えてから、印刷されるまでは時間がかかる。



→一度印刷の操作をしたら、印刷されるまで待つこと。「でてこないから」と、何度も印刷すると、同じものが大量に印刷されてしまう可能性がある。

(3) 大量印刷は禁止。同じデータを複数部印刷する場合にはコピー機を利用すること。

→大学 PC では、印刷の設定画面で印刷部数を複数部に設定しても、プリンタには1部しか出力されない。

(4) 大学 PC では備え付けの A4 用紙以外では印刷することができない。

- 学部生の場合、印刷は年間1,000ポイントまで無料（モノクロ印刷は1ポイント、カラー印刷は5ポイントでカウントされる）。制限値を超えるとポイントを追加購入しないと印刷ができなくなるので注意（以下で説明するように、FinePrint上で印刷をキャンセルすれば印刷はおこなわれず、カウントもされない）。
- 大学 PC の印刷ツール FinePrint を使うと、複数ページを1枚にまとめたり、異なるファイルを1枚にまとめて印刷することができる。

3. レッスン成績を印刷しよう

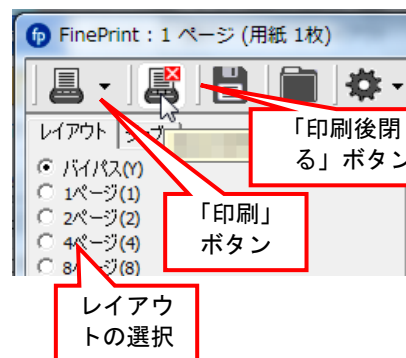
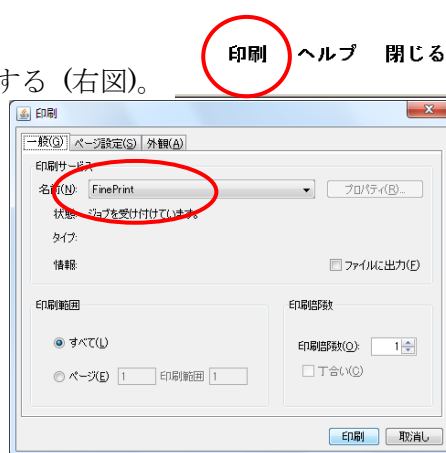
- 「レッスン成績」画面にある「印刷」をクリックする（右図）。

- 「印刷」ダイアログ（右図）が出るので FinePrint が選択されていることを確認して「印刷」ボタンを押す。

- FinePrint（印刷ツール）のプレビュー画面が出るのでプリンタ名を確認し「印刷」ないし「印刷後閉じる」ボタンを押す。うっかり複数回印刷することを防ぐため、左の「印刷」ボタンではなく「印刷後閉じる」（下図参照）を選ぶとよい。なお、印刷せずキャンセルする場合はウィンドウ右上の「閉じる」ボタンで FinePrint を閉じればよい。

- ❖ FinePrint の「レイアウト」機能を使うことで、複数の練習コースのレッスン成績を1枚の紙にまとめて印刷できる。最初のレッスン成績を FinePrint のプレビュー画面に出したら、いったん TypeQuick に戻って他のレッスン成績を FinePrint で印刷する。全てのデータの印刷処理ができたなら最後に FinePrint で「レイアウト」を変更する。レイアウトを「2ページ」「4ページ」... に設定しまとめ印刷ができる（そのまま印刷する場合は「バイパス」。**【重要】「1ページ」にすると余白の設定などが変わってしまうので「1ページ」の設定は使わないこと。**

- ❖ 「両面印刷」をチェックすることで、印刷する紙を節約することができる。
- 「印刷完了」画面が出たら、印刷されたレッスン成績をとりに行く（「印刷完了」画面には印刷ポイント情報が表示されるので確認するとよい）。



- ✓ PC 教室の場合、標準設定で自分の座っている席と同じ側にあるプリンタで印刷が行われる。変更することもできる。その他の場所ではプリンタ名がプリンタに貼ってあるので確認してから印刷しよう。
- ✓ 間違っって他人の印刷結果をとってきたり、自分で印刷したものを放置したりしないこと。

- 印刷が終了したら「閉じる」をクリックして TypeQuick の初期画面に戻る。

次回までの準備：

- タイプクイックをこつこつ練習しておくこと（時々突然チェックします）。
- タイピングテストの日程および試験方法については後日連絡します。（以上）